



# SG

## REPORT

### 第70回 ボートレースメモリアル

8/27-9/1 ボートレース丸亀

優勝戦1周2マーク



同県の遠藤エミと。夏のビッグレースは滋賀支部がともに連覇



### 馬場貴也がまくり差しで連覇達成 賞金ランキング4位からトップへ

晩夏の祭典「ボートレースメモリアル」は、丸亀で6年ぶりのSGとして開催された。全国各地に甚大な被害をもたらした台風10号の影響を気にしながらシリーズが進行したが、安定板を装着した日が2日あった程度で、結果的には順延なしでシリーズを終えることができた。

優勝したのは、前年覇者の馬場貴也だったが、予選から圧倒していたわけではない。「みなさん、よう進んではりませぬ」というコメントが象徴するように、機力は中堅程度。予選ラストを逃げ切った16位で準優勝戦6号艇に乗艇した

が、ここが勝負の分岐点となった。「同期の岡祐臣に海水の調整についてのアドバイスをもらった。それを今節どこかで試したかった」ということで、取り付け角度の変更(チルト+0.5度)と思い切ったプロペラ調整に踏み切った。

迎えた準優勝戦9Rは、様々なことが起きた(レース内容は後述)。馬場は峰竜太、宮地元輝の仕掛けによって混戦となった1マークの最内を突き、バックで先行する宮地に並び、2マークを先制して先頭を確保。大波乱の立役者となった。「これで連覇する可能性が1%か

## 準優9R

進入からゴールまで大波乱！					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	⑥		馬場 貴也	6	13
2	②	△	石野 貴之	3	26
3	①	◎	峰 竜太	2	16
4	③	○	森高 一真	1	16
失	④		深谷 知博	5	13
失	⑤	×	宮地 元輝	4	15
2連単 ⑥-②		19930円	26番人気	差し	
3連単 ⑥-②-①		60140円	87番人気		

## 準優10R

地元の片岡が快勝					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	片岡 雅裕	1	11
2	③	△	池田 浩二	3	07
3	④		中島 孝平	4	06
4	②	○	西山 貴浩	2	11
5	⑤		島村 隆幸	5	12
6	⑥	×	山口 剛	6	14
2連単 ①-③		350円	1番人気	逃げ	
3連単 ①-③-④		1630円	4番人気		

## 準優11R

予選トップの平本が押し切り					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	○	平本 真之	1	17
2	⑥		桐生 順平	6	12
3	④		吉川 元浩	4	12
4	②	◎	瓜生 正義	2	19
5	③	△	前田 将太	3	13
6	⑤	×	佐藤 翼	5	14
2連単 ①-⑥		2380円	7番人気	逃げ	
3連単 ①-⑥-④		8650円	25番人気		

## 優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター		今回成績					
						1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
						コース・スタートタイミング					
◎	◎	① 平本 真之		◎	○	○	③ 三〇四	③② 六14二〇七	① 一〇八	② 六〇九	① 一17
○	○	② 片岡 雅裕		◎	◎	○	③ 六〇七	①③ 二11四〇三	④ 三12	③① 五11一19	① 一11
×	△	③ 馬場 貴也		◎	○	○	①④ 二〇九三〇七	③ 五16	③⑤ 六12四21	① 一〇四	① 一13
△		④ 石野 貴之		◎	◎	★	⑤ 二10	②① 六22五11	① 一21	④③ 五16三〇四	② 三26
	×	⑤ 池田 浩二		◎	○	○	①① 二〇四一15	④ 六〇五	③② 五21三15	④ 四18	② 三〇七
		⑥ 桐生 順平	F	○	○	○	④ 五11	③⑤ 六18四11	④② 二31三24	① 一21	② 六12

### 展示速報での採点

#### 12R

- 1 平本真之 ☆☆☆☆
- 2 片岡雅裕 ☆☆☆★
- 3 馬場貴也 ☆☆☆☆
- 4 石野貴之 ☆☆☆☆★
- 5 池田浩二 ☆☆☆★
- 6 桐生順平 ☆☆☆

\*当日のスマホマクールで配信したものです

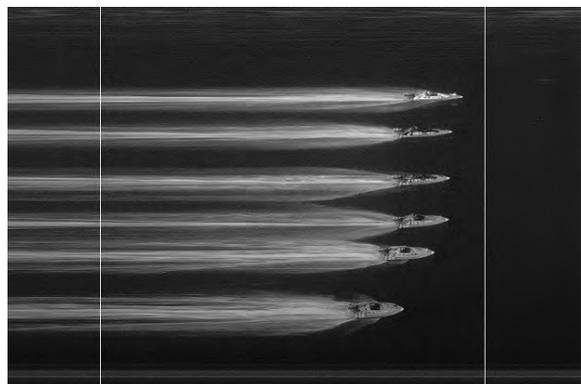
## 優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	③	△	馬場 貴也	1.49.6	3	09
2	①	◎	平本 真之	1.51.6	1	06
3	⑥		桐生 順平	1.52.4	6	21
4	②	○	片岡 雅裕	1.53.1	2	08
5	④		石野 貴之	1.55.0	4	09
6	⑤	×	池田 浩二	1.55.4	5	13
2連単 ③-①		1710円	7番人気	まくり差し		
3連単 ③-①-⑥		7910円	30番人気			

最終日はシリーズ一番の好天に恵まれ、昼間の気温は最高で33度まで上昇。全員がSGを2回以上制している豪華メンバーとなった優勝戦は、頂上決戦にふさわしい絶好の水面コンディションとなった。

展示気配、石野のスリット後の伸びは誰の目にも明らかで、展示タイムも一人突き抜けた。爆速を

ら10%くらいになった」と準優勝戦後の談話。当日の朝、話を聞くと気にしていたのは、4号艇の石野貴之の存在だった。「石野さんがかなり伸びてくるので、これを止めなければ。団体まで持ち込めたら、チャンスはあると思う。片岡君は地元だし、優勝を意識するならば一本に絞るはず。僕はまくり差いで勝負。ファンの方に楽しんでもらえるレースがしたいです」と意気込み、チルトを0度に下げてバランスを重視した調整に切り替えた。



計時した。周回では平本真之と馬場の動きが鋭かった。

ファンの大歓声に後押しされて6人がピットアウト。コース取りに動きはなく拵なり3対3から、平本が06のトップスタートを決めた。スリット後、石野がカドから舟を伸ばしてくるが、それを馬場が止めてそのまままくり差しハンドルを入れた。平本も懸命の逃げを打ち、1マーク出口では両者によるしゅかり合戦。必死に平本が馬場を押さえ込みにかかったが、かろうじてボートをねじ込んだ馬場が2マークを先取り、勝負あり。見事に大会を連覇し、SGタイトルはこれで5個目となった。

優勝賞金4200万円を加算し、獲得賞金は1億1495万円。ランキングは4位からトップに躍り出た。

## 戦い終わって—

### 平本真之(2着)

スタートがやばいと思った。石野さん、馬場さんが来ているのが見えて全速で回ってしまいました。久々にこういう舞台で走って、冷静ではいられなかった。あー、取れないですね。

### 桐生順平(3着)

調整はそれなりにうまくいって、最後まで6コースから舟券に絡めたことは良かったです。

### 片岡雅裕(4着)

仕上がりは良かった。優勝するチャンスはあるレースだったけど、初動の位置でミスしてしまいました。

### 石野貴之(5着)

仕上がりは抜群でした。内側が素晴らしかった。また頑張ります。

### 池田浩二(6着)

2マークは失敗した。もうちょっと上手く回れたら3着はあったと思う。仕上がりに関しては5日目までと特に変わらなかった。

## ベストバウトはドリーム戦と準優勝ボートの常識を覆す内容に熱狂!

今節のベストバウトを2つ挙げるとしたら、ドリーム戦と準優勝戦9Rだろう。ドリーム戦、1号艇の峰竜太が引いた49号機は、近況ワーストクラス。前検から珍しく泣きのコメントで、初日に6項目の部品を交換する大整備を敢行。対照的に好素性の20号機を引いた茅原悠紀が、カドから07の快シヨットを決め、一気にまくり切った。峰は完全に飲み込まれたが、さまざま態勢を立て直しバックへ向くと、あれよあれよという間に茅原に追いつき、2マークで先手を打った。茅原は全速戦で逆転を狙い、ホームで再度併走に持ち込むが、2周1マークで力尽き、決着がついた。ボートの常識を覆すレース内容に、ファンは熱狂した。

もうひとつは準優勝9R。まず進入争い。展示は枠なり3対3に折り合ったが、本番では⑤宮地元輝のピット離れが良く、オレンジブイのところ④深谷知博を交わした。そのまま緩やかに前方に舟を進めると、それに合わせて③森高一真が静かにターンマーク方向に向

かっている。その時①峰竜太はオレンジブイ付近でスローダウンしているところ。「これは!」と気付いた峰は、時すでに遅し。森高も加速しインをゲット。峰はガツクリ2コース回りとなった。

スタートは3コースの②石野が遅れた以外は横並び。100m起こしの深インでも森高はコンマ16のスタートを決めた。しかし、スリット後は峰が伸びて2コースから意地のまくりを打ったが、両者ともに大流れ。

これで展開が向いたのは宮地と⑥馬場。直線で併走になった両者は2マークで馬場が突き放し、全速戦を打った宮地は流れて石野が逆転。宮地が3番手で航走していたが、3着でゴールしたのは宮地ではなく、5番手だった峰。ゴール前、直線に向くところで宮地がバランスを崩し、深谷に接触し両者転覆。レース映像も途切れていて、何が起きたのかわからないという人が続出した。そのまま宮地が3着でゴールしていたら15万舟だった、6万舟に…。

## 賞金トップは今日だけ喜んで毎年、毎年、強くなっていきたい

優勝戦を終えて。

ビックリです。準優勝戦で勝てたことが全てでしょう。あれで勝負できる位置に来たので。片岡君は地元だし、差し一本に絞ってくださるだろうと思っていたので、僕もまくり差しに割合を振って、あとは石野さんのスタートに対して持たせることだけに集中していました。

スタートは09。

追い風がかなり強かったんですけど、絶対にミスだけはしないように、と。これで石野さんにまくられたらしょうがない。自分が行ける範囲までは行きました。

最終日の調整は?

石野さんが隣だったので、ストリートを意識して調整しました。出足とかもそれなりにしっかりしたので、これなら何とか戦えるんじゃないかという状態ではありましたが。準備よりも確実に乗りやすさがありましたし、節間を通して優勝戦が一番バランスが取れていたと思います。

仕上がりに関しては?

特訓前にはこれで行くのかなという形で臨みました。1号艇ではなかったの、一か八かではないけど、ツキがあったら優勝できるという所ではあったのかなと。

これがいいきっかけに?

今回は去年のモデルのエンジンだったので、プロペラが合わせやす

かった部分はあると思います。今年モデルのエンジンに対してのプロペラのアプローチをしっかり考えていかないと、ですね。

賞金ランクトップに躍り出た。

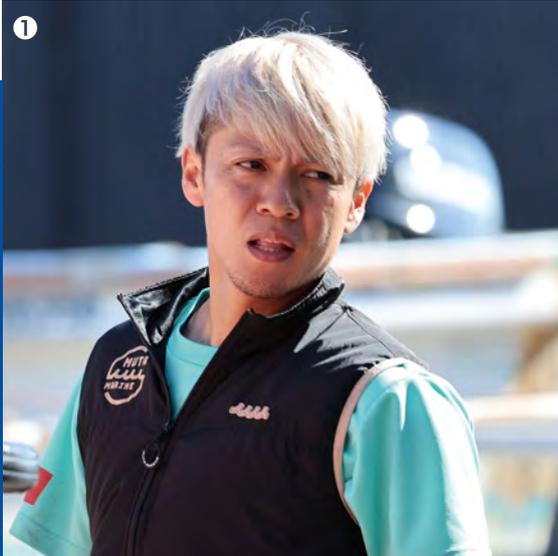
今年は調子が悪くて、苦しくて。今節、何とか準優勝に乗るという考えだったんですけど、昨日ツイていて、結果的に流れが良かったなど。今年は全体的に流れに助けられている感じがします。賞金トップになったことは、今日だけは喜んで、また明日から切り替えてしっかりやっていきたいと思います。

今後に向けて。

これ以上ない流れで地元びわこのGIに臨めるので、また気持ちを入れ直してグランプリに向けてしっかりやっていきたいですね。グランプリに関しては昨年の敗戦で成長できた部分もたくさんありました。やっぱり簡単な舞台ではないということを感じたので、そこを克服して毎年、毎年、強くなっていきたいなと思います。



① 流れは良かっただけに本当に悔しい敗戦となった平本真之 ② 片岡雅裕は地元のエースとしての役目を存分に果たした ③ 予選18位からメダル表彰まで登壇した桐生順平 ④ 仕上がり抜群で台風の目となった左野貴之 ⑤ 陸の上では和気あいあいの池田浩二と西山貴浩だが、水面ではバチバチ。なお池田が2戦2勝



⑥ 巻頭インタビューに登場した西橋奈未。爪跡を残したいと意気込み、節間通して見せ場を作った ⑦ 暑さ対策で空調服を着ている選手が多数いた ⑧ ワースト機を立て直した峰竜太、予選3位通過はお見事 ⑨ エース機を引いた定松勇樹は勝負駆けで粘れず ⑩ 準優勝戦で大いに沸かせた地元の森高一真

